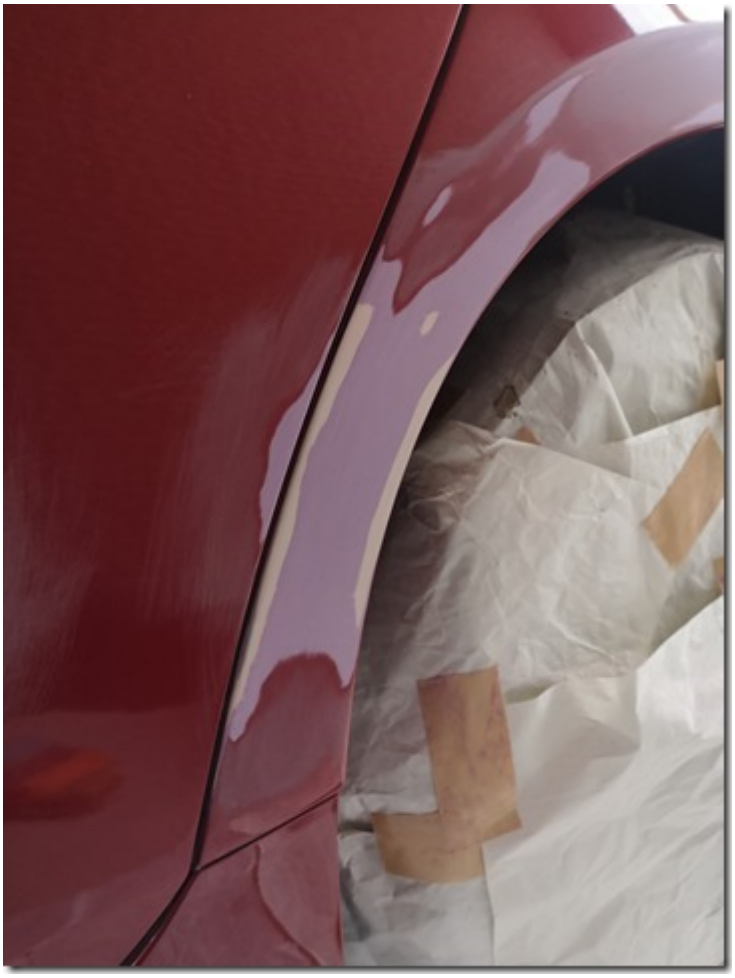


嫁のお陰でDIYの技術が向上した話!

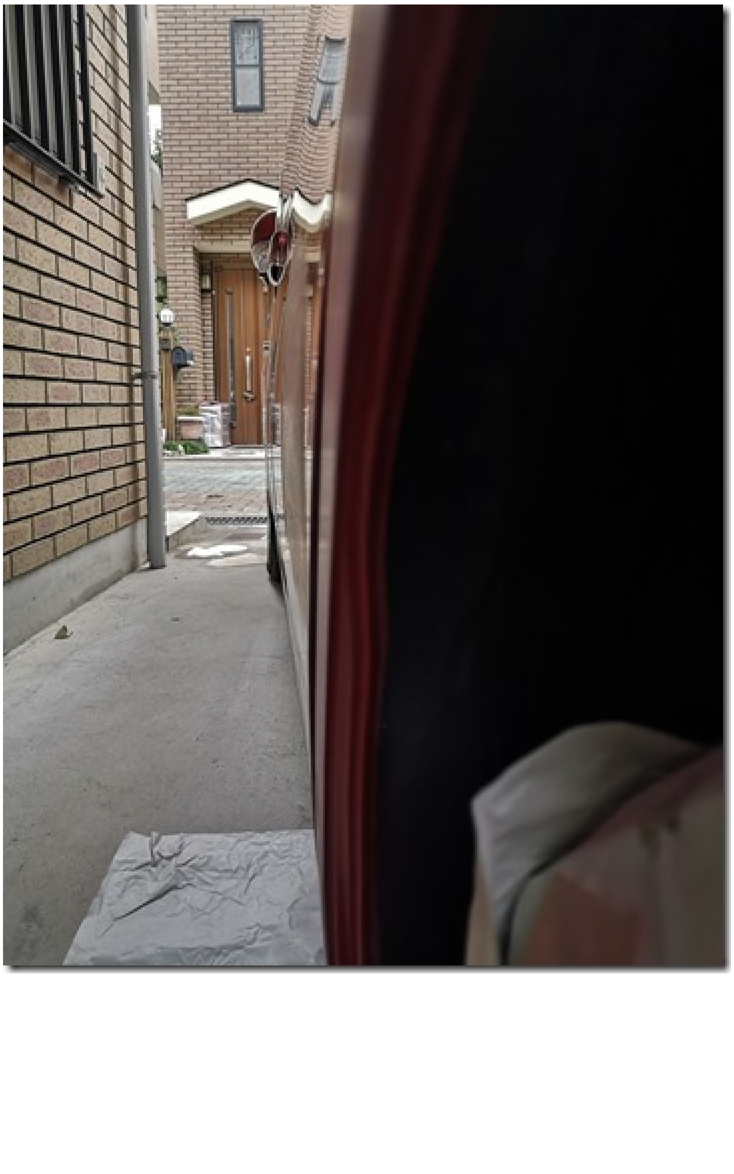
またやった!

過去２回擦ってる我が家のプリウスですが、
１回目は左側がぐちゃぐちゃになり
さすがにパネル交換となりました。

2回目は、パネル交換の数週間後にまたやらかして
板金屋さんのお世話になりました。

そして、それから１年ぐらい経ったかな。

また左側を擦ったようです。
今度は、塗装の削れ程度の傷だったので
DIYで直そうと思います。



どういう当て方をしたか分かりませんが、
フェンダーパーツがドアパネルに比べると
内側に凹んでいます。

ということで、パテで盛り付けてモデリングしていきます。
粗く盛り付けて、削ってを４，５回繰り返します。
ソフト99の厚盛りパテを使用しました。
2液タイプのもので硬化するとカッチカチ。
外気温は15℃くらいで、３〜4時間放置して
固まるのを待ちました。

説明書では20℃で1時間と書いてありましたが、
何となくですが、ボディの表面温度が
それくらいの温度であれば固まる気がしますが、
さすがに屋根があるところだと８月くらいしか
1時間で固めるのは無理じゃないかなぁ。

板金屋さんは、暑い時期の方が
仕事が捗るということですね。

暑さで人間が大変ですが。。。

パテが固まりきらないうちに
ヤスリで削ったりすると
半生の状態のパテが消しゴムのカスの
ように丸まって出てきてしまうので、
時間をかけてカチカチになるのを
待った方が賢明ですね。

なんとか形になりました。苦労したのが、
エッジを出す作業。盛っているパテを成型するのが
難しかったです。でもカーモデラーになった気分で
楽しめました。
手の感覚で引っ掛かりがないか確認しながら、
段差をならしていきましたが、人間の手の
感覚ってすごいですね。本当にちょっとした
段差を感知することができます。
カーモデラーもきっと手で触って削ってを

繰り返しているのかもしれませんね。

このラインを出すのに一苦労。

単純に穴をパテで埋めるだけなら

難しいことはないのですが、

大きく凹んでいるところを

埋めつつ、外側の曲線を維持するのは、

難しく、途中削り幅が合っているのか

わけがわからなくなります。

引いて見たり、あらゆる角度から

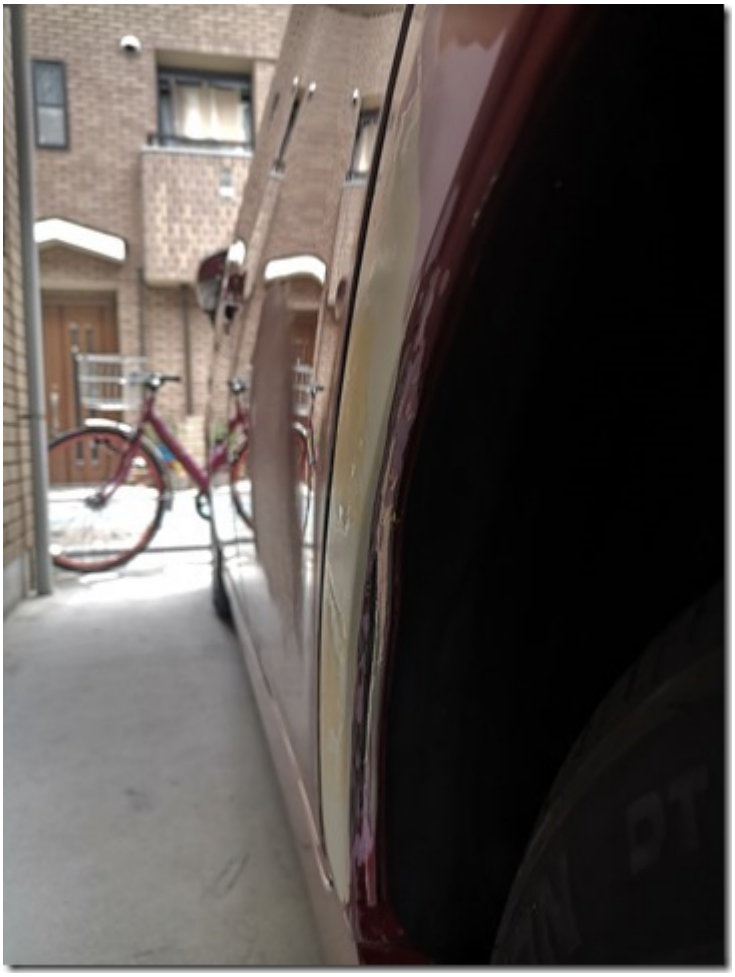
観察すると削るポイントが見えてくる

と思います。一番いいのは、

ジャッキアップして、

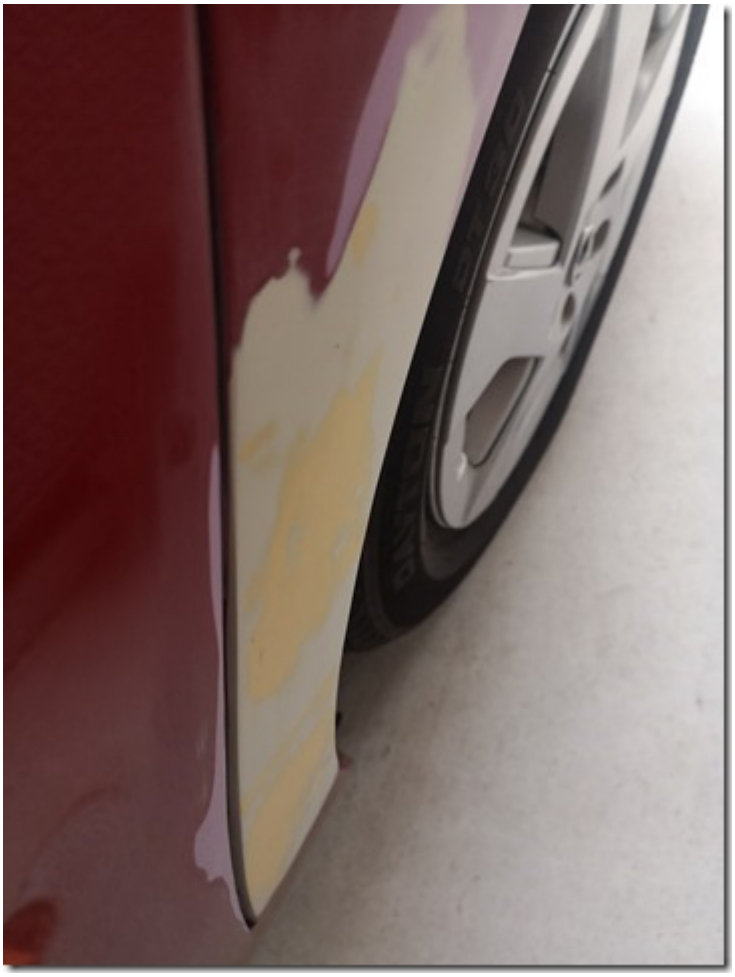
目の高さに修復ポイントを持って行くことですが、

素人DIYの範疇を完全に越える設備w



ともかく、細かい穴をラッカーパテで
埋めていき、一旦パテ作業終了。

この後は、サーフェーサーを拭いて、研磨を
２，３回繰り返してさらに平滑にしていきます。



まぁ、素人でも時間をかけてコツコツやっていけば、
それなりにキレイに仕上がりそうな予感がしてきました。

宮崎駿が言ってましたが、

素人がたまに美味しいラーメンを作ることは出来るけど
毎日客に飽きられない美味しい味を出し続けるのは難しい

と、まさにそれ。

素人とプロの違いは、対応力と効率化。
素人は何をするにも時間がかかる。
起こる問題を予期できないので、いらない工程を
挟むことになり結果的に非効率な方法になっている。

なので、素人DIYで早く作業しようとすると
途端に失敗するのは理屈に合っていると思います。
素人だからプロでは出来ないような時間のかけ方をして
じっくりと落ち着いて作業する方が良い。

すでにここまでに４日間とられている。

これからサーフェーサーの作業で、２日。

塗装作業で２日。

いやぁ、年内に終わるかどうか。

気の長い戦いになりそうだわぁ。

パワーメーター付きカーボンホイールを自分で組んだ!

いろいろあったけど、ホイールが完成！！

今回の手組ホイールのテーマは、

「パワーメーター付カーボンホイール」

です。

まず、ヤフオクで入手したパワータップG3が
あって、それに合わせたリムを選択し、
ホイールを組み立てる企画。

今回仕上がったホイールのスペックを見ていきましょう。

リム	QILEFU (キレフ) https://ja.aliexpress.com/store/1430139?spm=a2g0o.detail.1000007.1.250931f08lLDKF リム幅: 23mm リム高: 60mm 穴数: 28
ハブ	Powertap G3 28H
スポーク	SENQI スチールスポーク
重量	1060g

パワータップは、ハブ式のパワーメーターで昨今見かけなくなったものですが、
自分は、割と重宝しています。というのは、これ１台でパワーはもとより
スピードとケイデンスが測れるからです。なぜケイデンスが測れるのか
謎ですが、いろんなセンサーや磁石をクランクやスポークに取り付けなくて
済むからなんですねぇ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]45㎜[illegible]

スポーク長の計算はあっているのですが、組む時に必要な

「組み代」

というのでしょうか、それを考慮にいれてなくて、スポークを
買い直すはめに・・・
スポーク長計算で割り出した数値はあくまで、直線の最短で
結んだ距離という意味であって、実際に組む時の条件は
違うのだということが分かりました。

その結果、スポーク長計算から3㎜ほど長いものを選ぶべし。

例外的にラジアル組にする場合は、スポーク長計算で割り出した
数値のままでOKかと思います。
スポークが交差する回数が多い組み方をする場合は、ちょっと
長めのスポークを選択した方が良いと思います。

ニップルのメスネジがスポークのオスネジに噛み込む位置にも
よりますが、組む過程でリムとハブの位置関係は大きく変化します。
考えて見れば、ホイールのフレがガンガンに出ている状態から
スタートする訳なので、スポーク長が足りないや余っている状況に
なることは想像できます。ただ、スポーク長の選択が厄介なのが
余ると締め付けられないし、足りないとホイール自体が組めない。

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130

反フリー側は５５ｋｇｆ。

経験上、自分の体重とパワーであれば問題ないレベルです。
反フリー側を６本組みにするとさきほどのスポーク長の
問題もあり、かなり組むのに苦労しました。

ホイールを作る場合は、まず均一に緩くスポークを張り、
徐々に締め付けていく方法が一番キレイに組めると思います。
ただ、スポーク長が足りない場合は、締め付ける際に
無理に足りないところへ他の張れているスポークを使って
リムを移動させないとニップルにかからない。

こういうことをしていると、縦振れが取れにくくなって
変なホイールに仕上がってしまう。

縦振れを取るのは横フレの１０倍難しい。

あと、組み立てる際にネジの緩み止めが溢れてリムに
付着したり、ニップルが工具で歪んだり、スポークの
ネジの部分がカーボンリムをキズ付けたりと、
完成したホイールの仕上がりがあまり良くない。

これでお金を取るってなるとかなり難しいので、

今後の課題としては、製造工程を見直して、

よりキレイに効率よく組み立てることですね～

どこを目指しているのか分かりませんが、

がんばります！！

Prime RR-50ってどうよ?

円安の最中ですが、チューブレスタイヤとセットになった
Primeの50mmのカーボンディープリムがお得になっています！！

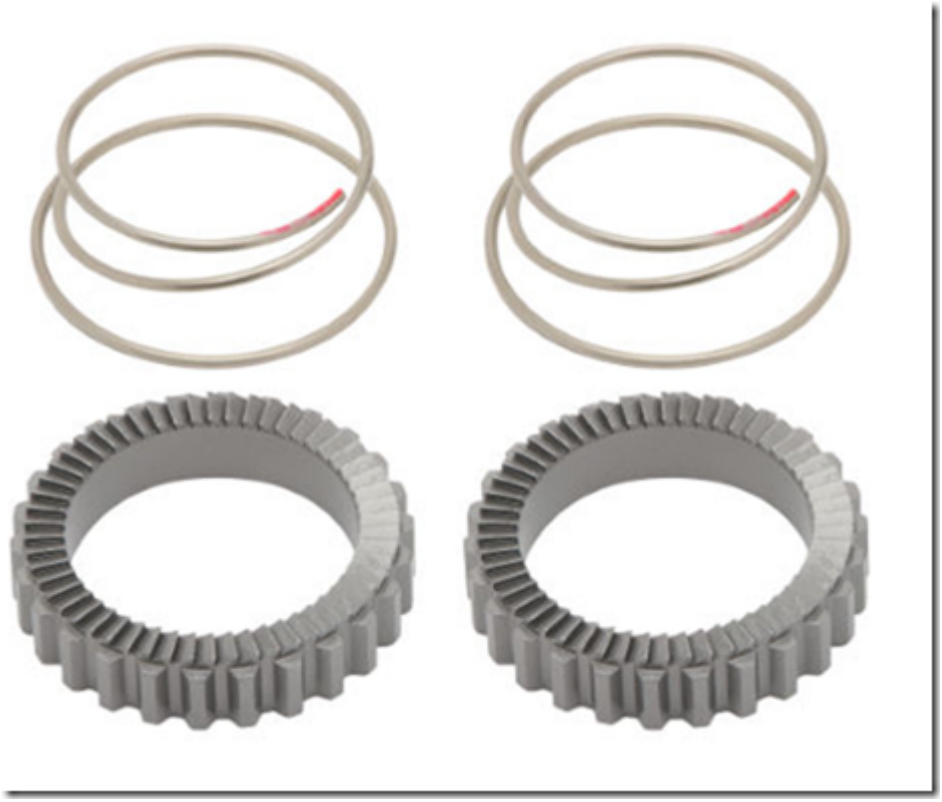
久しぶりのWiggle情報ですが、何気にブラックフライデーセールを
見ていると、ビットリアのコルサ２本とシーラントセットで
６万円ちょい!

コレは安い・・・

ちなみに、ホイールセットだけなら５万４千円くらい。
カーボンリムを組み立てている経験からすると
この値段でホイールを作るのはやはり大量生産の強み!

しかもPrimeホイールは、購入後２年間
転倒や事故で損傷した場合、推奨小売り価格の４０％オフで
新しい商品と交換することができます。

スペアパーツも充実しており、カンパユーザーも
フリーハブが売られておりますし、スポークやリムも
単体で購入可能。



ラチェット音を大きくできるスターラチェット５４Tが

売られているので、爆音好きはセットで買うべし!

付属タイヤがヴィットリアのコルサグラフェン２．０

セールで１本５～７千円なので、もうこの時点でお得!！

このシーラントの単体での値段は不明ですが、

１５０ml入っているので、タイヤ２本分ですね。

アマゾンで買えるマックオフのシーラントが

140mlで、１６００円くらい。

単体で買った場合・・・

ホイールセット：５万３千円

タイヤ２本：１万円

シーラント：千円

合計：６万４千円

もともとこのカーボンホイールが安すぎるというのもあり

お得感が４千円程度ですが、とはいえ、４千円でも

お得なものはお得!

タイヤの値段に変動があるので、国内で同じコルサを

買うと２本セットで１万２千円。

Wiggleは円で決済できるので、この値段と

プラスで税金がかかってきます。まぁ、しょうがないですね。
お得なところは、税金の足しにという感じでしょうか。

ディープリムにしてみたいけど、何を買おうか迷っている方には
ちょういいと思いますよ。リムブレーキなのでお間違いなく！